

左近山中だより

令和2年9月28日
横浜市立左近山中学校
校長 福田 有志
No. 5

後期に向けて

校長 福田 有志

ようやく秋の心地よい風が感じられるようになってきました。今年はいへんな暑さのため、新型コロナウイルス感染症だけでなく、熱中症対策に迫られる日々が夏休み明けも続きました。昨年も同じように夏の厳しい暑さに影響を受けましたが、来年以降は猛暑日が少なくなることを願うばかりです。

9月1日の防災訓練では、大地震を想定して校庭に避難するという訓練を行いました。今年度も3年生の意識の高さと迅速な行動が見られました。避難の呼びかけから3分以内には全校の生徒・職員が避難を完了し、全体の点呼確認報告は5分程で完了しました。今後も地震だけでなく、台風を含めたその他の災害に備えて、身を守る安全な行動を取れるように訓練を重ねていく予定です。

新型コロナウイルス感染症に伴う対応としては、各学年の昇降口で毎朝の健康チェック、手洗いやアルコール消毒、エアコンでの温度調整及び換気等を行っています。感染症対策についても安全な学校生活を送っていけるように注意を払い、継続しています。授業とともに学校行事についても、安心・安全を第一に開催していきます。

学校における行事である、9月29日の体育祭、10月30日・11月2日の文化祭についてはその内容や形式を変えて、実施します。現在、体育祭に向けてクラスや学年で練習に励んでいます。グラウンドで各競技に全力で取り組む様子を見ていると学校全体に活気が出てきたような気がします。当日も元気に楽しみながら、力を出しきってもらいたいと思います。ただし、せつかくの全校生徒の活躍する場ではありますが、新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえて、地域・保護者のみなさまの参観はなしとさせていただきます。何卒ご理解のほどお願いいたします。

夏休み後の一か月間で中間試験も終わり、あと少しで前期のまとめを行う時期になりました。後期に向けて自分自身の目標をもう一度確認しましょう。生徒のみなさん一人ひとりが、学習、行事、委員会活動、部活動などで力を発揮して、より成長していくことを期待します。



防災訓練

9月1日の「防災の日」に合わせて、避難訓練を行いました。震度7程度を想定したもので、実際に使用が想定されている「緊急地震速報」を用いて訓練が開始されました。

まず机の下にもぐり、身の安全を確保します。次に教職員が、トランシーバーで連絡を取り合いながら、生徒を安全、かつ迅速に避難させるべく安全点検を行いました。次に避難経路の確保ができる、グラウンドに避難を開始します。避難後に校長先生から「全体的に落ち着いて避難できており、特に2、3年生の避難は1年生へのお手本になる。」と講評をいただきました。全生徒がソーシャルディスタンスをとりながら、グラウンドで微動だにせず校長先生の話に耳を傾けていた姿から、左近山中生の防災に対する意識の高さが伝わってきました。



(避難訓練担当)

子ども読書の日

8月25日(月)朝総合の時間に、図書委員による子ども読書の日が放送されました。本来ならば5月の子ども読書の日に合わせて行う予定でしたが、今年度は時期をずらしての実施となりました。

今回の放送内容は、話す内容や準備を含め全て図書委員が考えたものです。昼休みを使って、本の魅力を全校生徒に伝えるための原稿づくりに励んでいました。特に、今回初めての試みであった「先生方へのインタビュー」は、答えてくださった先生の協力もあり大好評でした。また、2年生の代表生徒によるブックトークも反響が大きかったです。

この放送で紹介された本は、図書館で貸し出しができるように注文をしてそろえる予定です。気になった本がありましたら、ぜひ図書館へ足を運んでください。

(学習指導部)



体育祭に向けて！

本年度の体育祭は、コロナウイルスの影響で例年とは異なった形での開催となります。開催日時も延期され、内容も昨今の情勢をみて変更せざるを得ませんでした。これは、中学校生活で3回しかない体育祭を中止しないための措置です。ご理解いただければと思います。体育祭実行委員の生徒たちは今年の体育祭も大成功に導くために6月から活動を続けています。本番に向けた練習も3年生が中心となって始まり、各学級では大縄跳びなど試行錯誤を重ねながらより良い結果を目指して練習しています。生徒同士の接触を極力避けるために、背中渡りや騎馬戦といった種目を取りやめ、新たに台風目とスパルタンレースという種目を組み込みました。生徒同士の接触がある種目を取りやめると、純粋に走力を競い合うだけの種目が大半を占めてしまうので、その2種目を行うこととしました。例年とは違う体育祭でも生徒たちがかける想いに差はありません。生徒のみなさんが楽しかったと心から思える体育祭になるように当日まで準備していきたいと思います。

(体育祭実行委員会)